

## **青葉区旭ヶ丘地区民生委員児童委員協議会**

(平成 25 年 5 月 17 日掲載記事)

青葉区旭ヶ丘地区民児協は委員 18 名（うち主任児童委員 2 名）のうち 10 名が住宅被害（半壊 2 名、大規模半壊 2 名、一部損壊 6 名）を受けましたが、現在は修復を終え、平常時の活動に戻っています。

当地区は丘陵住宅地のため、傾斜地で相当の被害がありましたが、国の支援や仙台市独自の支援により今後復旧していくものと考えています。このような状況のなか、津波被害や原発事故により他の地域から当地区に避難されている方もおられますが、その方々への支援に関しては、仙台市社協と協力しながら活動してまいりました。現在、連合町内会、地区社協、行政、学校、民児協などが連携して、避難所運営を含めた防災マニュアルを作成しています。東日本大震災でその必要性を感じた在宅避難者への支援も明記しています。

海岸部で津波被害に遭われた地区では、震災から 2 年以上経過した今もなお、仮設住宅での生活を強いられ、その地区の民生委員・児童委員は私たち内陸部をはるかに超えたご苦労が続き、そのご辛苦を心配しています。

終わりにあたり、今回の大震災では全国の民児協の皆様より心暖まるご支援をいただきましたことを、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



震災直後の様子



平成 25 年 3 月の様子